

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/03/04 ～2019/03/31)

<はじめに>

こんにちは。現在、ドイツ・ライプツィヒ大学に留学しているものです。こちらに来て1か月が経ち、これが初めての報告書になります。この1か月でいろいろなことを経験したため書いたことが多く、まとまりのないものになってしまうかもしれませんが、少しでもドイツ留学を目標とする誰かの助けになればと思います。

そもそもなぜドイツなのに4月から留学がスタートしているのか？と疑問に思った方もいるかと思います。ドイツでは(少なくともライプツィヒ大学では)実際のところ、Wintersemester(10月～)あるいはSommersemester(4月～)、どちらからでも留学可としているようです。実際この時期からライプツィヒ大学へ留学しに来ている留学生も結構います。とはいっても夏休み明けが本来の学期ははじめであるため、2学期目からだに参加する授業がいきなり一段階上のレベル、ということになるかもしれません。ですが、個人的にはあまり関係ないと思うので、もしこれを読んで悩んでいる方がいれば検討してみてください。

1. 勉学の状況

さて、3月11日に入学手続き Immatrikulation を済ませ、その翌日にドイツ語オリエンテーションコース Sprach- und Orientierungskurs へ向けたクラス分けテスト Einstufungstest が行われました。内容は文法事項を問うものが多く、日本で培った受験テクニックを駆使すると上級クラスに入れられてしまう恐れがあり、注意が必要です。と分か



コース終了後、クラスメイト全員で。

っておきながら、自分は一番上のクラスに入れられてしまいました。初日の午後にライプツィヒを散策してみようという催しがあったのですが、そこでいきなり各々が街のことを調べ、散策中にそれをドイツ語で発表することになり、なかなかハードなクラスだな…と不安になることもありましたが、3年間地道にドイツ語を勉強してきた甲斐もあってか、一昨年の夏に Inter-DaF の語学研修に参加したときよりも気持ちに余裕を持って参加できていたように思います。テストは200語程度の作文2つと、自分で選んだテーマについて15分ほど発表するというものでした。最低3つの資料を用いて参考文献リストに加えることと、発表時、クラス仲間にテーマに基づい

でディスカッションをさせることも条件に組み込まれていました。自分はここで森鷗外の『舞姫』をテーマにし、自分なりにドイツに由縁のある日本の文学を紹介してみました。成績は1,3(1,0が最高、5,0が落第)で、ここまで良い評価をもらえたことに自分でも驚いています。

ちなみに、アジア人はやはり文法が得意なようで、自分のクラスの半分以上が中国、韓国の留学生でした。日本人は一人だけでしたが、同じ東アジア出身なのにわざわざこの遠い国で互いドイツ語でコミュニケーションをとるとするのは、面白い体験です。

この報告書を書いている今は、どの授業を取ろうかと悩んでいる最中です。やはり夏学期は開講される科目が講義 Vorlesung よりゼミ Seminar の方が多くなってしまいうため、とれるかどうかの見極めが難しいです。とりあえず今学期一週目は気になる授業に出て、様子をみて決めていこうと思います。詳しい履修科目は来月の報告書に書きます。

2. 生活の状況

3月3日の午後にフランクフルト空港に到着し、そこで一泊した後（前から気になっていた東横イン・フランクフルト駅前に泊まってみました！中央駅から近くにあり、日本人スタッフもいるため、不安でいっぱいの旅の始まりに泊まるにはお勧めです！）、ICE(Inter City Express)でライプツィヒへ向かいました。その列車の到着が1時間ほど遅れ危うく予定が狂うところでしたが、そこでBuddyが出迎えてくれ、おかげでその日中に無事に寮に入居することができました。その後Buddyが寝具の買い物や住民登録、銀行口座開設などに付き添ってくれ、おかげでスムーズに生活に慣れることができたと思います。



寮の部屋

寮は風呂・トイレ・キッチンが5人共同ですが、個室はあります。大学まで徒歩10分ほどで行くことができ、近くにスーパーもある好立地ですが、部屋が6階なのにエレベーターがないという致命的な欠陥があります。家を出るのも嫌になる欠点ですが、いい運動だと思って毎日上り下りしています。食事は、学生証が手に入れば学食 Mensa が利用できるの、昼はいつもそこで食べています。授業が始まる4月からは19:30まで開いているので夕食も食べられます。料理は日替わりで

どれもおいしく、400円以下で満腹になれます。

と、ここまで書いてきたBuddy Programや寮については、千葉大での応募がすべて終わったあたりでStudentenwerkのHP(<https://www.studentenwerk-leipzig.de/>)で応募できます。そのほかにも学生用の有益な情報が多く載っているので、ライプツィヒ大学に留学しようと考えている方はよく見てみてください。

それから、日本人がドイツ留学するうえで必ず直面する問題はビザ関係だと思いましたが、自分の場合いわゆる bürokratisch な手続きにはほとんどドイツ人の Buddy がそばについて話を進めてくれたので、本当に助かりました。たとえ自分のドイツ語に自信があるとしても国が違えばシステムも全く異なるため、その仕組みを理解するには苦勞します。Buddy がいてくれなかったらどうなっていたらと思うと、やはり現地のチューターの力は借りるべきだと思いました。



日本米に似ている Milchreis を鍋で炊飯

こうした一連の手続きは州ごとに違うばかりでなく人によっても異なってくるため、どんなに情報収集しても必ず何かしらの問題には直面すると思っておいた方がいいと思います。思ったのは、住民登録→銀行口座開設→ビザ申請という流れだと思って準備していたのに、銀行口座を開くために外国人局の書類が必要だということがわかり、焦ってその書類を外国人局に取りに行くということがあったからです(どうやらこの点はドイツ人の Buddy も知らなかったそうです…)。実はこれを書いている時点でもビザ申請書類に不備があり、まだ完了していないという状態なので、いつビザを取得できるか、まだ不明です。



国民劇場とゲーテ・シラー像 (Weimar)

で廃止すべきだと思いました。

最後に少し楽しい話(?)も付け加えておきます。先日の日曜日に日帰りでワイマールまで行ってきました。小さい街ながらゲーテの家やリストの家など見どころがたくさんあり、充実した日帰り旅行でした。実はこの日、前もって行きの切符を購入していたのですが、電車の出発時間2分前に起きたため、切符代15ユーロほどが無駄になりました。3月の最終日曜日がサマータイムの移行日であることをあとで知り(この日だけ一時間短くなる)、まあこれが原因だと思うことにします。少し前に議論になっていましたが、やはりサマータイムは健康に悪いの

以下にライブツィヒ到着後の手続きを、あくまで一例として載せておきます。参考になれば幸いです。

①寮への入居

Studentenwerk のオフィスに出向き、パスポートを提示すると色々と書類を渡されサイン。別室で敷金と一か月分の家賃を現金で払い、その後自分の寮まで行き家主のところで鍵を受け取ったら完了。

②住民登録

入居時の書類とパスポートを持って住民局へ。時間帯によって待ち時間あり。

③外国人局で閉鎖口座開設用の書類をもらう

(少なくとも Sparkasse の場合は) 閉鎖口座を開くためには外国人局から「私は閉鎖口座 Sperrkonto を開きますよ」という趣旨の書類が必要になる。メールでも申請できるが返信に時間がかかるため、外国人局へ直接取りに行った方が早い。

④閉鎖口座開設

書類を手に入れたら銀行へ。ドイツ銀行 Deutsche Bank は仕事が遅いという評判だが Sparkasse はうまくいけば一週間ほどで開設できる。開設申請後一週間ほどで寮のポストに諸々の手紙が届く。キャッシュカードが届いたら利用可能 (のはず)。

※もし渡航まで時間があるなら、日本にいるうちにドイツ大使館を通じて閉鎖口座を作っておけば③④の手順が省ける (かも?)

⑤日本から送金・残高証明をもらう

一年間滞在の場合は 8640€を口座に振り込むことになる。Transferwise というアプリが早くて便利なので、日本にいるうちに使えるようにしておく。送金が完了したら残高証明を印刷するなり銀行で申請するなりして発行する。

⑥ビザ申請へ!

<https://www.leipzig.de/buergerservice-und-verwaltung/aemter-und-behoerdengaenge/aemtertermine-online/terminanfrage-auslaenderbehoerde/>

上記のサイトの「Kontaktformular」から予約できる。予約は早くて1か月後ほどになることが多いため、書類がそろっていても予約はした方がよい。



Leipziger Buchmesse



Dresden (語学コースでの Exkursion)